

映画「ジェイン・ジェイコブズ」

これもフェイスブック仲間の投稿から知った耳よりの情報だ。標題の「ニューヨーク都市計画革命」というサブタイトルがついた映画が、東京を皮切りに上映されるという。ぜひ見たい映画だ。とりあえず「映画. COM」解説から。

建築界のバイブルとして読み継がれる「アメリカ大都市の死と生」の著者ジェイン・ジェイコブズに迫ったドキュメンタリー。1950年代のアメリカ。モダニズムを背景に自動車中心に合理的な都市計画が主流を占めていた。そんな中、1961年に刊行された「アメリカ大都市の死と生」はこれまでとはまったく異なる新しい都市論を展開し、世界に大きなインパクトを与えた。今や都市論のバイブルとなっているこの本を書いたのは、ニューヨークのダウントウンに住む主婦ジェイン・ジェイコブズ。実際に暮らす生活者の視点で街を観察し、魅力的な街づくりのためのさまざまな独創的なアイデアをつかんでいったジェイコブズとその仲間たちは、「マスタービルダー」の異名を持つ都市開発の帝王ロバート・モーゼスらが強引に推し進める開発プロジェクトを阻止するため、壮絶な闘いを繰り広げていく。本作では当時の貴重な記録映像や声を織り交ぜ、「常識の天才」ジェイコブズに迫っていく。

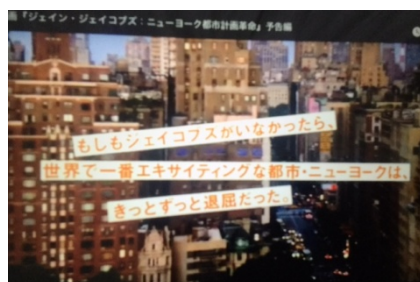
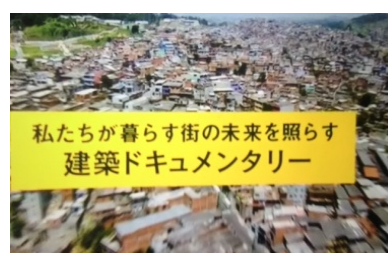
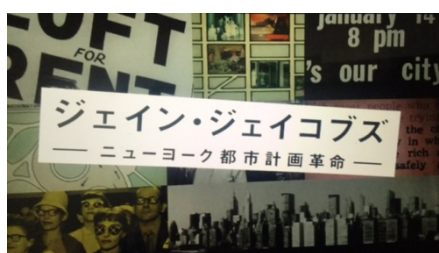


とりあえず予告編を見た。

「都市は誰がつくり 誰のためにあるのか」

「街区が短く 曲がり角が多いと 様々な相互作用が生まれる」

「新旧の建物を近隣に混在させる」などと。



(2018年5月17日)